

先祖代々の畑を次世代につなげていく

福島県喜多方市の市街地から車で15分。山間の段々畑を抜け、細い山道を上っていくと丁寧に整備された美しい畑が広がっています。会津盆地を一望できるこの高台の畑は、6年前までは藪が生い茂る耕作放棄地でした。集落の高齢化とともに荒れ果ててゆく故郷の里山。この荒れた土地を農地に蘇らせ、次世代に繋げる農業を目指しているのが江川さん一家です。雪深い会津盆地で故郷の田畑に新しい命を吹き込んでいく、江川さん一家の奮闘をご紹介します。

土建屋が畑を耕す？

「耕作放棄地をなんとかしてくれませんか？」地元で建設会社を営む江川正則さんに市役所から相談があったのはある日のことでした。農業関係の土木業を請け負う仕事をする正則さんは根っからの自然好き。幼い頃は、将来の夢として農園の設計までしていたほどの筋金入りです。「農業は俺の得意分野だから」と迷わず引き受けました。耕作放棄地は傾斜地のような手間のかかる不利な条件の地域から広がっていきます。そして江川さんに任せられたのは山間の傾斜地にある土地でした。

再生した土地、でも後継者がいない！

正則さんは農業土木の技術、ノウハウ、機械を総動員して藪の中に埋もれてしまった耕作放棄地を農地に整備していきました。しかし、再生した農地を持ち主に返した正則さんに聞こえてきたのは「体がいうことをきかない。返されてもできないんだよ」という高齢化と後継者不足に悩む集落の声でした。後継者がいなければ、再生した土地もまた荒れ地に逆戻りです。こうなったら自分たちで農地を維持するしかない、そう思い新たな会社を立ち上げた正則さんは農業を学びながら作物の生産を始めました。



特集

アスパラガス

「耕作放棄地」に命を吹き込む！
江川ファミリーの挑戦。

福島県喜多方市 江川さん一家
父 江川正則さん(右)
息子 江川正道さん(左)

父の背中を追って息子たちが帰ってきた！

一方、故郷を離れていた正則さんの息子達は「父が元気なうちに一緒に働き、多くを学びたい」と震災後に相次いで故郷に戻り父、正則さんを手伝うようになりました。「喜多方にはなにもない。でも自然だけはある。とにかく自然に触れさせて育てた。だから帰ってきたんだろう」と正則さんは話します。長男の正道さんは父が切り拓いた土地を引き継ぎアスパラガスの他サフラン、なつはぜ(地元で親しまれている果物)の栽培に汗を流すようになりました。また、新たに耕作放棄を再開拓した13ヘクタールもの土地では落花生やほうれん草の栽培も計画しています。



喜多方の町が一望できる大パノラマ

畑を手放した人の思いも、引き継ぐ

江川さん一家の取り組みは徐々に認知され、農地を任せる人も増えてきました。依頼は断らず引き受ける江川さんが心がけているのは「農地だけでなく離農せざるを得なくなった住民の思いもひっくるめて引き継ぐ事」です。事情を抱えて離農に追い込まれた人たちが、再生した自分の農地を見にやってきます。そこで語られるたくさんの思い出。畑を守ってきた人々の思い。それら全てを受け継いでいくことが、農村の文化を守り、次世代に繋げていく。江川さん一家の取り組みは単に「耕作放棄地解消」を越えた意義や夢に溢れています。

アスパラガスの健康情報

春と夏、年に2回収穫されるアスパラガス。ミネラル豊富な雪解け水をたっぷり吸い込んだ春採りのアスパラガスはみずみずしい若茎と食感が特徴です。早春の太陽の光が育てたアスパラガスは健康成分でいっぱいです。

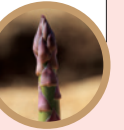


アスパラギン酸で疲労回復

アミノ酸の一種であるアスパラギン酸には、疲労回復を促し新陳代謝を高める効果があるといわれています。アスパラギン酸はアスパラガスの穂先に多く含まれるので、疲労回復には穂先を食べるのがおすすめです。

βカロテンでアンチエイジング

アスパラガスは栄養素をバランスよく含みますが、中でも体の免疫を高め美肌効果も期待できるβカロテンが豊富です。栄養豊富で低カロリーなアスパラガスはアンチエイジングに積極的に取り入れたい春野菜です。



「食」つうしん。

いつも弊社の商品をご利用いただき、誠にありがとうございます。「食」つうしんは、東北で活躍している漁師さんや農家さんを集集し、東北復興を応援しております。また、あなた様の健康を「食」からもサポートしたく、東北の漁師さんや農家さんと協力して旬の健康食材を集集としてます。ぜひ、健康な毎日をお過ごしいただくためにお役立ていただければ幸いです。「食」つうしん。編集部一同